

2020 年大阪高生研(高校生活指導研究協議会) 9 月オンライン例会 (先着定員 100 名)

9 月 27 日 (日) 13 時半～17 時 於 : ZOOM

『高瀬舟』で模擬裁判～

「この時期にこの授業を受けられて良かったです」

人間・人生・社会を考える**気宇壮大**プロジェクト～ (授業実践)

共同実践発表 札埜和男 (岡山理科大学教育学部准教授)

村上真理子 (千葉県立 A 高等学校国語科教諭)

「楽しかった！模擬裁判をやってる場合じゃないとか言ってる人が他クラスにいたようですが、私はそうは思いません」。

3 年秋 (2019 年)、受験に特化した授業を行うべき進学校で、なんと 2 か月 (10 月～11 月) に及び、“小説『高瀬舟』で模擬裁判を行う” という気宇壮大な授業が展開された。しかも実践者は模擬裁判を行うのは初めて。そして、4 クラス同時進行！しかし実践者には、「模擬裁判には国語との親和性があり、小説の読みを深める手段となりうる」という確かな見通しがあった。やがて医師、弁護士、大学教員をゲストとして巻き込み、「国語」を軸としながら超えたデザインを持つ実践へ！結果的に「人間・人生・社会」について深く考えさせる「探究」的授業となり、「高校生にとって必要な学びとは何か」を考えさせる実践となった。

「この時期にこの授業を受けられて良かったです」受験生にこう言わしめたのは何なのか？どんな国語の読みが展開されたのか？探究的とは？そもそも授業とは？皆さんと議論していきたいと思います。申し込み : fudano@ped.ous.ac.jp へ

(当日の ID、パスワード、資料を返信致します) * 会員外も参加可。参加費無料。